

三田市立ゆいのき台中学校

令和3年度「修学旅行」速報

1. 目的

- 修学旅行を通し、学級・学年の連帯感を高めると共に、思い出深い行事にする。
- 普段とは違う、その土地の風景や空気に触れ、見学などを通し、社会的、文化的な視野を広げる。
- 六古窯の一つ「信楽」で陶芸体験を行い、伝統的な焼きものの世界に触れる。

2. 期 日 令和3年10月22日（金）～24（日）2泊3日

3. 場 所 滋賀県甲賀市 三重県桑名市・津市・伊勢市

4. 宿 舎 1日目 ガーデンホテルオリーブ 三重県桑名市
2日目 美杉リゾート ANNEX 三重県津市

5. 交通機関 学校～滋賀、三重 全行程（大型バス9台）

6. 感染症対策について

（1）「新しい生活様式」による基本的な感染症対策を実施する。

- 換気を徹底して、「密閉」を回避する。
- 身体的距離を確保して、「密集」を回避する。
- できる限りマスクを着用して、「密接」への対応をする。

（2）バス利用上の対策

- バスの台数を9台にして、バス内の密を避ける。
- 換気バス（7～8分で空気入れ替え）を使用する。
- 乗車時には必ず手指の消毒をする。
- マスクを着用し、会話を極力避ける。

(3) 宿舎利用上の対策

- 定期的な換気、こまめな健康観察と検温、手洗いと消毒を実施する。その時間も確保する。
- 部屋、食事場所、入浴場所の人数制限による密回避。
- 生徒の部屋移動の禁止。
- 食事はセットメニュー、全員前向きのスクール形式。
- 従業員の出勤時の検温と消毒の徹底。接客時のマスク着用。
- 調理場・清掃スタッフの手袋着用。

(4) 諸活動の際の対策

- 密を避けるため、距離をとった体験活動や少人数グループでの活動とする。
- 団体行動中は、可能な限り人と人の距離を取り、会話を控えるようにします。また、会話をする際は必ずマスクを着用します。
- バス乗車時の消毒、食事・施設等での手洗いや消毒についてこまめに実施します。
- 食事、入浴、就寝、外での活動で人と人との距離が確保できている以外はマスクの着用を励行しますが、室内でも気候状況等により熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、換気や人と人との距離を確保した上で、マスクを外して休憩できるようにします。
- バスや施設等の定期的な消毒と換気を徹底します。
- 養護教諭が同行します。

「しおり」から

(表紙・裏表紙)



(実行委員会)

☆全体目標 永和 ～Best friends best memories～

- 挨拶をしっかりとしよう！
- メリハリを持って行動しよう！
- マナー、ルールを守って行動しよう！
- コロナ感染症対策を守って、仲良く楽しもう！
- ホテル外では5分前行動、ホテル内では時間ピッタリに！

(校長挨拶)

「永和(とわ)」 ～Best friends best memories～

昨冬から続く「コロナ禍」、4月25日に兵庫県に発出された「緊急事態宣言」は6月20日まで延長されました。そのような状況の下、今年度も「修学旅行」を「春」に実施することができず、9月1日からの日程に変更となりました。また、旅行地も1年生当初は「沖縄」を予定していましたが、「滋賀・三重」方面に行き先を変更せざるを得ませんでした。そして、8月12日から9月末日までの今年度2度目の「緊急事態宣言」の発令により、「修学旅行」は再度の延長が決定されました。

それでも、「修学旅行」は「永久(とわ)」に不滅です。そして、皆さんには、「Best friends」がいて、そこには「和」があります。2021(令和3)年度の「修学旅行」、10月20日～22日の3日間で、「best memories」を創りましょう。皆さんの修学旅行のスローガンは、「永和(とわ)」です。このスローガンは、各クラスから出された意見をもとに、実行委員会によって創り出された、世界に一つだけの言葉です。

滋賀・三重への修学旅行は、「修学旅行を通し、学級・学年の連帯感を高めると共に、思い出深い行事にする。」「普段とは違う、その土地の風景や空気に触れ、見学などを通し、社会的、文化的な視野を広げる。」「六古窯の一つ「信楽」で陶芸体験を行い、伝統的な焼きものの世界に触れる。」を目的としています。初日は陶芸体験となばなの里のイルミネーション見学、2日目は長島スパランドで、最終日は伊勢での班別行動を中心とするプログラムになっています。ゆったりとしたプログラムになっています。ひとりひとりが、また集団として、「感染症対策」を万全に行い、有意義な時間をクラスや学年の仲間と、共にしてほしいと願います。

「Best friends best memories」—「最高の仲間」とともに「最高の思い出」を創りましょう。

三田市立ゆりのき台中学校 校長 大野 正人

プログラム

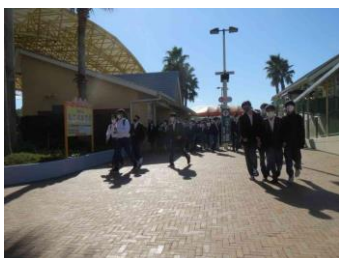
10月22日（金）

まず「信楽陶苑」を訪れました。鍋や天麩羅など昼食をいただいた後、絵付け体験にチャレンジしました。素焼きのカップに6色の絵の具で絵付けしました。さて、どんな作品になっているでしょう。焼き上がりが楽しみです。初日の宿は、「ガーデンホテルオリーブ」。夕食では、お造りや焼肉など豪華夕食をお腹いっぱいいただきました。そして、「なばなの里」へ。国内最大級の煌めきがつくる奇跡の絶景、イルミネーションに感動の一夜でした。



10月23日（土）

「ナガシマスパーランド」に営業開始を合図に入場しました。「ナガシマスパーランド」は、子どもからおとなまで楽しめる国内最大の遊園地です。総アトラクション数は遊園地の規模は国内最大で、絶叫マシンの聖地ともよばれる人気スポットです。絶叫マシンを満喫したのはもちろん、絶叫マシンはちょっと苦手という人も、大観覧車やお化け屋敷、ファミリー向けアトラクションなどで楽しい時を過ごしました。お昼は、フードコーナーで友とそれぞれのランチタイムを過ごしました。この日は、「三杉リゾートANNEX」に宿泊しました。



10月24日（日）

伊勢市「おかげ横丁」の班別行動に臨みました。なかには、「伊勢神宮」内宮を訪れた班もありました。神宮の歴史は2千年。その間、幾多の旅人が伊勢を訪れました。おかげ横丁には、50軒の専門店が立ち並びます。名物や美味しいものの探索し、伊勢路の名産品の買い物を楽しみました。そして、旅行最後の昼食を「関ドライブイン」でいただき、学校には予定通り16時30分到着しました。

もちろん主人公は生徒の皆さんですが、関係する「みんな」で心を一つに創り上げた、歴史に残る素晴らしい「修学旅行」でした。



修学旅行を終えて(生徒感想)

○思い出をたくさん作ることができて、天候も良くて、本当に最高の修学旅行だったと思います。コロナで大変ななかで、計画してくださり、実行してくださった先生方にありがとうございました、と伝えたいです。楽しかった思い出をみんなで作れたからこそ、もっと絆も深まったと思います。これから、勉強ばかりでしんどくなりそうな時でも、この思い出を思い出して、乗り越えていけそうな気がします。楽しかった分、ここでしっかり切りかえて受験に向けて頑張りたいです。

○級友と親睦を深めることができました。ナガシマでは普段一人なら乗らないジェットコースターやバイキングに乗ることができて、自分の世界を広げることができました。ホテルでは、普段の学校生活ではできないトランプやウノ、人狼ゲームを楽しんだり、心ゆくまで話したりすることができました。みんなの意外な一面を知ることができました。

○この修学旅行で、クラスの絆がもっとももっと深まったと思います。この深まった絆を生かして、文化祭、そして受験、全ての行事へと繋げていけるようにしたいです。たった3日間でしたが、この3日間でみんなグンと成長できたと思います。クラス全員でつくりあげた力を最大限に使っていけるようにしたいです。今回のこの修学旅行で、一人ではできないこともみんなでできたり、楽しさが増したりという経験ができ、そのおかげで仲間の大切さも知ることができたと思います。なのでもっともっとこれからの行事や日々の生活のなかで深めていけるよう頑張ります。

○コロナ禍でいろんなことが制限されていたはずなのに、みんなと自然に精一杯楽しめて、不思議なくらいに楽しかったです。3日間、班のみんな、クラスのみんなと暮らして、いつもは見られないような友だちの一面が見られたり、普段学校生活でしないような活動をしたりしてより仲良くなれたと思います。あと全員で過ごすのは半年もないけど、短い時間のなかで楽しい思い出をもっとつくっていきたいです。

○今回の修学旅行はコロナ対策をしっかりととれていたのがよかったと思います。この修学旅行中のように、学校生活でも常に黙食を徹底したいと思いました。また、修学旅行で初め

て話した人も多いので、これからの学校生活でみんなと話して、より良いクラスになって、卒業するときに「楽しかったね！」と言えるクラスになるように頑張りたいです。企画していただいた先生方、ありがとうございました。

○最初はあまりのり気ではありませんでした。県を越える活動は危険に飛び込むようなものだったからです。でも今はとても行って良かった活動だったと思います。当初の予定とはかなり遅れたけれど、得たものはたくさんあって、それを活かす期間はたくさんあります。僕はこの活動で個人の個性と団体で活動することの強みを学びました。これからそれぞれの進路に進んでいくけど、その過程で先生が受験は団体戦と言っていたように、自分にみんなにできることを考えて、自分にできないことはみんなに力を借りながら、このクラスや学年がより良いものとなるように頑張りたいです。

○自分は実行委員として4月から話し合い、会議というものをしてきましたが、今回やっとの思いで行けた修学旅行。一言でいうと楽しかったです。いろんな場面でいろんな思い出ができました。そして、スローガンにもあるように、一番の友だち、クラス、学年と一番の思い出、そして永久に忘れることがないほどの日々でした。またこんな良い思い出をつくることのできたのは、先生やホテルの方などたくさんの人が関わってくださったおかげでもあるので、そんな方々に感謝の心を持てるようにしたいです。

○修学旅行はとても楽しくて、班のみんなやクラスのみんなで3日間過ごして、とても良かったです。コロナのことで延期が続き、「行けないのかなあー」と思っていました。行けて本当に良かったです。1日目は絵付け体験をして、ホテル内でもとても楽しく遊べました。2日目のナガシマスパーランドでは、最初に白鯨に乗って、絶叫系、ジェットコースターも初めてでとても面白かったです。33畳の部屋のなかでとても面白かったです。3日目もあまり時間がなかったのですが、とても楽しくて、班行動もできました。とても楽しい3日間でした。

○2泊3日の修学旅行、本当に楽しかったし、良いものになったなと思います。バスの中でもホテルの部屋でも、感染対策を守りながら全力で楽しめたので、すべてが楽しかったです。また、1日目の昼食時の反省から、夕食や朝食の時は、みんな静かに食べていて、一声かけるだけでこんなに変わるんだなと感じました。本当にこの短い時間の中でたくさんの人が成長できたんじゃないかなと思います。なので、この成長を生かして、今後の学校生活、大変なこともあると思うけど、楽しく過ごせたらいいなと思います。

○一つ一つの体験が面白くとてもたくさんの思い出を作ることができ、受験勉強を忘れて友だちとのんびり楽しめたので、とても良かったです。これからはしっかり今回仲を深められた友だちと、楽しむ時は楽しみ、しっかり受験勉強に取り組みたいです。

○僕たちの修学旅行は、当初は一学期に予定していましたが、2学期に延長され、コロナ禍のなかでも行けたことが本当に良かったです。1日目は、信楽での絵付けやイルミネーション見学があり、自分が作りたいものやきれいなものが見られて良かったです。2日目、3日

目はナガシマやおかげ横丁で班のみんなと一緒に行動して楽しめました。今後の学校生活では、修学旅行で改めて学んだことを生かしながら、どんなことにも全力で取り組んでいきたいです。

○本当に2泊3日あっという間で楽しすぎました。コロナもあったので思うようにいかないこともあったけど、何とか行かせてもらえたことに感謝です。実行委員の人たちや先生方など、私たちの修学旅行のために動いてくれた方たちに「ありがとうございました」と伝えたいです。中学校生活「最高」の思い出になりました。これからテスト三昧で、受験への道を歩いていくけど、クラス全員で乗り越えていきたいです。騒がしいし欠けているところもたくさんだけど、クラスのメンバーが大好きなので、残りの中学校生活、全力で楽しみます。

○まず、帰ってきたときに校長先生がおっしゃったように、とても良い修学旅行だったと思います。しっかり挨拶したり、時間をしっかり守ったりなど、スローガンも達成でき、たくさんの思い出もできました。また班別行動や移動の素早さなどから、声を掛け合うことの大切さを学びました。なので、これから文化祭や3学期に球技大会や卒業式でもみんなで協力し、残り約半年弱の学校生活で、たくさんの思い出をつくりたいです。そして普段の授業でも挨拶やメリハリを意識したいです。